

■効果・枯草のメカニズム・樹木への影響に関する Q&A

1. 枯草するメカニズム、効果を教えてください。

- ・重曹溶液が高圧(10MPa~200MPa)で茎・葉部に打ち込まれると、雑草内部にエチレンや活性酸素が発生し、茎・葉の細胞破壊(ネクロシス)が生じます。
- ・茎・葉部から滲入した重曹の影響で、光合成をしない夜は気孔が開いたままになり、水分が放出されて枯れます。
- ・土壌中の重曹は、種子の発芽を阻害すると共に、根の伸長なども阻害して矮性を促進します。

2. 感受性の高い(有効な)雑草種を教えてください。

- ・重曹に対して感受性が高い(枯れ易い)雑草種は、セイタカアワダチソウ・ヨモギ等の広葉雑草種・クズ(葛)等のつる性雑草種・メルケンカルカヤ等のイネ科雑草種です。

3. 芝の感受性と復元(復活)性について教えてください。

- ・芝は感受性が低く、散布後、一時的には表面が黄変しますがその後濃い緑色に復活します。
- ・散布後、約2週間~3週間で緑が元に戻ります。

4. イネ科に対しては、感受性が低いとの事ですが効果はどの程度ですか?

- ・イネ科雑草の除去方法としては、雑草の根部分に専用ノズル(ポアーノズルS型・土中注入器)を差込み土壌中に散布を行えば枯らす事が出来ます。

5. 土中処理が有効な雑草は何ですか?

- ・ススキ・チガヤ・クズ(芋)・イタドリ・キハマスグ・スズメノカタビラ等です。
(効果は処理する箇所数及び雑草種によって差があります。)

6. 植物の生長を抑制できるのですか?

- ・重曹の濃度や土壌の残留濃度を調整することで、枯らさずに成長を抑制して矮性を誘導します。

7. 散布してから効果の期間はどのくらいですか?

- ・枯草効果は雑草種及び成長期で異なりますが概ね1~2ヵ月です。
(継続的に使用することで成長抑制効果が得られます。)

8. 思うような効果が出ない場合や、雑草以外の植栽に影響が出た場合の対応はどのようになっていますか?

- ・効果が出ない事例はありません。重曹自体に化学的効果がある上に、高圧散布で茎・葉・を物理的に切断及び粉碎しますので、残る対象は根だけでそれに重曹を吸わせる事で効果が出ます。
- ・雑草の種類等を調査し、個別の対策を提示し施工を行います。
- ・低木などは、それ自体に直接散布しない限り枯れ等の影響はありません。

9. 樹木も枯れますか?

- ・樹木は、大きいので枯れません。低木については、影響が心配な場合は、養生を行います。

10. 雨の日に散布しても効果はありますか?

- ・雨天の場合は、重曹の濃度が希釈される為、効果が半減致します。

11. 草刈をしてから低圧で散布するのは、効果ありますか?

- ・効果はありますが散布のみでは枯死しない雑草もあります。
- ・セイタカアワダチソウなどは、上から重曹をかけるだけで黄化し枯死します。
しかし、茎がしっかりしている面は、直噴をしています。

12. 施工場所に制約等がありますか?

- ・どこでも許可無く安全に施工できます(法律で明示されています)

13. 重曹はどこで製造されていますか?

- ・IL(インターレジェンス)は国産です。(米国、モンゴル、オーストラリアでも製造)